

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和6年9月24日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

- ① 季節性インフルエンザ、新型コロナウイルスワクチン接種について(健康医療課より)
- ② 「にいみ福祉大会」「サロン・集いの場 交流&研修会」の案内(社会福祉協議会より)
- ③ 8/28「令和6年度第2回多職種連携・人材育成研修会」の報告(まんさくより)
- ④ 9/7「認知症市民研修会 映画上映『オレンジ・ランプ』」の報告(高齢者支援課より)
- ⑤ 10/1 新見医師会WEB学術講演会「第3回 新見市腎臓を考える会」の案内(新見医師会より)
- ⑥ 11/13 「第26回 新見医師会・川崎医科大学附属病院 がん診療地域連携懇談会」の案内(新見医師会より)

4 協議事項

- ①認知症地域ケアパスについて

次回開催日

令和6年 月 日（火）

奇数月第4水曜日に定期開催！



ピオーラカフェ

令和6年

9月25日(水) 13:30~15:30

場所：新見市地域福祉センター

ピオーラカフェは、認知症の人やそのご家族だけでなく、誰でも気軽に参加できるカフェです！声かけて連れのおて来てえなあ♡



第19回の内容

みんなで体を動かして認知症予防！

「ミニミニ運動会」

*動きやすい服装でお越しください！



他にも、大学生の企画コーナーや、認知症・介護に関する相談ブースも設けています。ご予約は不要です。参加費200円を握りしめてお越しください♪



次回は
11月27日
開催予定！

お問い合わせ

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会
新見市金谷640番地1

☎ (0867) 72-7306 (代表)



令和6年度

ふだんのくらしをしあわせに

にいみ福祉大会

市内で行われている地域福祉活動について、広く市民の皆さまに知っていただき、多くの地域に広がっていくことを目指して、にいみ福祉大会を開催します。

当日は、地域活動者の発表に加えて、記念講演として、日本初の義手の看護師で、北京・ロンドンパラリンピック競泳で入賞経験もある伊藤真波さんを講師に招き、どのような苦難や逆境があっても頑張りを続けることの大切さについてお話しいたします。伊藤さんによるバイオリン演奏も予定しています。



1 支え合い活動の取組発表

天恵水豆腐づくりで独居・高齢者の見守り訪問事業
(福本地域振興会)

2 記念講演

「あきらめない心」 講師：伊藤 真波 氏
(北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表、
日本初の義手の看護師)

【講師紹介】20歳のときにバイク事故で右手を失うが、看護師になるという夢を実現するために看護学校に通いながらリハビリとして水泳を始める。ハンディキャップを乗り越え、日本初の義手の看護師になり、水泳でもパラリンピックで素晴らしい記録を残した。

令和6年10月20日(日)

13:30~16:00

10月11日(金)までにお申し込みください(裏面参照)

【会場】まなび広場にいみ大ホール

主催：社会福祉法人新見市社会福祉協議会

後援：新見市



サロン・集いの場 交流&研修会

地域の人と楽しい時間を過ごす集いの場は、心と体の健康を保ち、地域の絆を深める大切な役割を持っています。楽しく集い、みんなで元気をUPしましょう！

▶ 日時 令和6年10月30日(水)

午前10時～12時

▶ 会場 新見市地域福祉センター 多目的ルーム

(新見市金谷640-1)

参加費
無料

講話



「これからの人生を楽しく
生きる元気力！！
～心と体の若返りのコツ～」

講師 岡山県立大学名誉教授
井村 圭壯 氏



サロンや集いの場に興味のある方や、地域の元気をUPしたい方等に役立つ情報がたくさんあります。
ぜひお越しください♪



*10/25(金)までにお申し込みください

申込みは
こちら

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

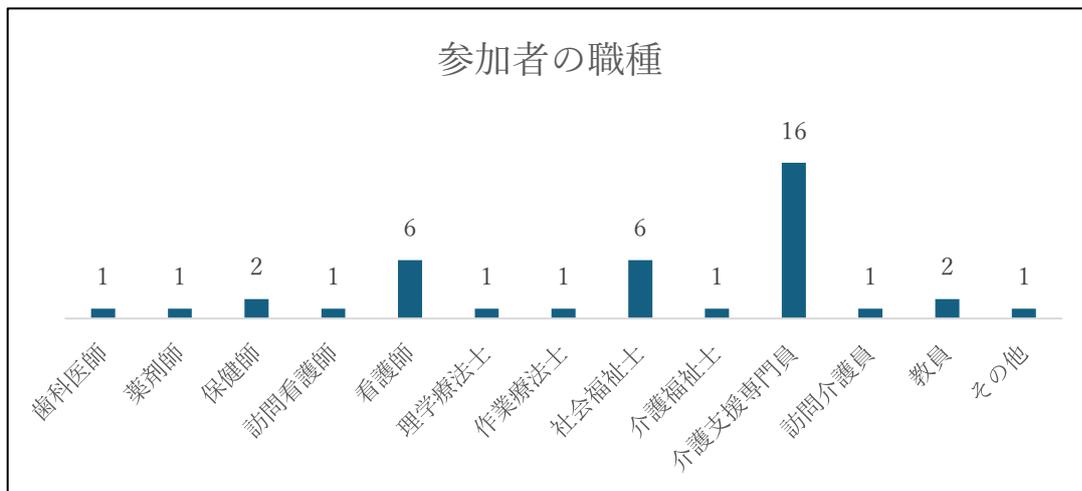
☎(0867)72-7306

営業時間 8:30～17:00(土・日・祝日は休業)

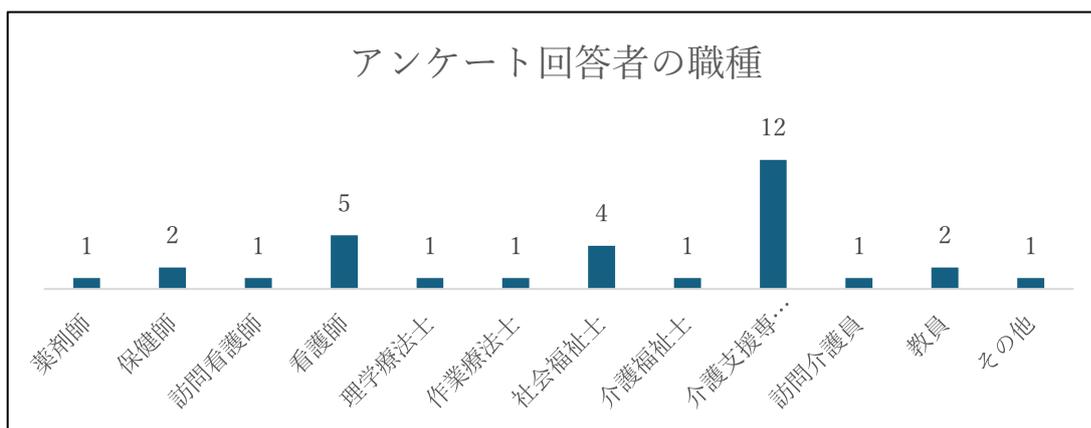


令和6年度第2回多職種連携・人材育成研修会研修後アンケート

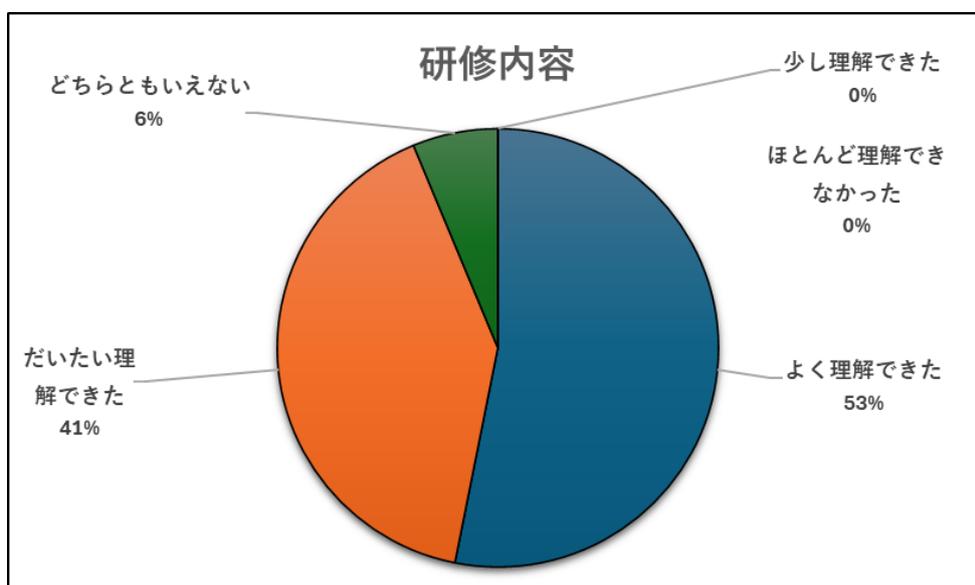
参加者の職種



1 アンケート回答者の職種



2 研修内容はいかがでしたか。



①「よく理解できた」と答えた理由

- ・さまざまな役をしてその方の立場に立てました。
- ・ロールプレイでそれぞれの役割を体験できてよかったです。
- ・ロールプレイをしていろいろ考えることができた。気づきがあった。
- ・それぞれの想いがなんとなくわかりました。
- ・ロールプレイをすることで理解しやすかった。
- ・実際にロールプレイをすることで実感できたから。
- ・実際にいろいろな立場になって話ができる。
- ・研修+ロールプレイ+振り返りを行うことで知識が深められた。

②「だいたい理解できた」と答えた理由

- ・ロールプレイをしたことで難しさを感じる事ができた。
- ・だいたい理解はできたと思いますが、難しいと思った。
- ・ロールプレイをすることで、いろいろな人の立場に立つことができよかったです。
- ・ACPを軸に面談を展開した訳ではないが、沿った内容になった。
- ・ロールプレイでそれぞれの気持ちがなんとなくわかった。
- ・本人と家族の気持ちを引き出すポイント。

1. ③「どちらともいえない」と答えた理由

- ・今日はロールプレイがメインで、他のことも学ばないといけないだろう。
- ・どこまで聞くのがACPなのか、もう少し理解していきたい。

3 感想等

- ・本人・家族への聞き取りの際のうなずき、間を空けることなど、今後の参考になりました。
- ・ACP：時期を逃さないように行いたいのが難しい。家族の中の意見の違いがあるときの対応。
- ・本人の意思決定支援のために各専門職の関わりと共に、本人や家族の理解を深めておく必要があると思いました。一緒に考えることが大切ですね。
- ・支援側だけでなく、家族側になることで支援者の意見が反映されがちになりやすいことも気づくことができ、ロールプレイを日頃から行うことが大切だと思いました。
- ・前もって意思確認や意志表示をしておかないと「その時」になってからでは意思を表明できない場合がある。
- ・意識しないといけないことや確認のポイントが良くわかりました。
- ・いろんな立場の方を経験したり観察したりできて視野が広がりました。ロールプレイの時間がもっと長いとおもしろいだろうなと思いました。
- ・支援者側ではなく本人役をすることで、声かけ、目線、寄り添うこと等、対応がすごく大切だと感じた。
- ・ロールプレイをしてみて、やはり普段からしっかりコミュニケーションをとっておくことの大切さを感じた。本人と家族の本心も汲み取ることの難しさを感じた。話の進め方や切り出し方もケースごとに違うため、なかなか考えてしまった。
- ・家族関係の良い家族ほど本音が聞きづらいと思えた。
- ・患者、家族の気持ちに寄り添って、話を聴いていきたいと思った。
- ・ACPの研修において本人や家族の悩みを聞き出すことが困難であることを知れました。本人と家族

両方が納得するために、まず試験的なサービス利用が効果的だと知れました。

- ・ いろいろな立場に立つ経験は、ロールプレイしかできないなと思いました。本人役をしてみたかった。何回も話し合いの場がないと話せないと思った。繰り返して大切。
- ・ 今日学んだことを踏まえてそれぞれの方の気持ちを考えながら今後実施していきたい。色んな情報、専門的な視点から、気持ちを踏まえて提案できるようにしていきたい。
- ・ 多職種のロールプレイはなかなか難しいと思われましたが、みなさんが優しいのでできました。ACPのタイミングや切り出し方は何時でも良いのかもですが、きっかけは必要だと思いました。
- ・ 支援者として家族、本人の間で調整をして、本人の最期を話し合う時間が大切だと思いました。いろいろな立場を考えることができました。
- ・ しっかりと関係性を作っていきたい。いろいろな引き出し、知識を持っておきたいと思った。
- ・ それぞれの立場になって考えて、直接言えること言えないこともある。言えないことを引き出す関係づくりが大切。ケアマネがとても大きな存在で安心できる存在だと改めて感じました。(看護師)
- ・ ロールプレイの10分で支援者が聴きたいことを聞くと、本人や家族の気持ちは促せません。まずはしっかり心と目で聴くことが大事！！専門性を伸ばしていきたい。
- ・ 患者、家族の気持ちに寄り添える支援者に常になりたい。
- ・ ロールプレイは今まで経験したことのない立場になれたことが、良い経験となった。
- ・ 患者や家族役をしてみて、言えないこともあると思いました。ロールプレイは難しかったですが楽しかったです。
- ・ 今回のロールプレイでより具体的にどう支援したらよいか考えることができた。
- ・ 本人・家族の気持ちを聴きながら納得いく方向に進んで行けたらと思いました。
- ・ いろんな役割の人の意見が聞けたのが良かった。元気な時から話をしていきたい。
- ・ 患者や家族の不安や困っていることを聞き出し、一緒に考えていくことが大切。寄り添うことが重要。
- ・ 2事例目、傾眠の時間が増え最後の場所を決めることであったが、正直、最期を聞くことに一生懸命になりすぎました。そのために元気な時から、話せるときから最後のことを何度も話すことが大切なんだと思いました。家族の不安を聞いたはいいが、サービスは入っていて、正直これ以上どうしたら？と思いました。力量って大切だと思います。
- ・ たった10分でも役になりきって、当事者になることができている経験になった。少しでもそれぞれの気持ちがわかったのが良かった。
- ・ 本人役、家族役を初めてやってみて、気持ちがよく分かり、支援者としてどのように伝えるのがよいか考えさせられた。
- ・ 家族、本人の思いに寄り添いながら適切な提案をしていくことが大切と思った。
- ・ 本人と家族の希望や気持ちを聞き、お互いが一番幸せな最期が迎えられるように援助していきたいです。

4 今後、ACPについて学びたいこと

- ・ 同じテーマでまたやっていただきたいです。
- ・ 実際の時期をどうするか(病院でも確認できていない時、在宅での時をいつにするか)で困っています。
- ・ 新見市内のACPの現状。各病院や施設の受け入れ体制。

- ・意志の引き出し方のポイントがあれば知りたい。
- ・実際の事例や最期の対応の仕方、家族に言っておかないといけないことを確認したい。(救急車はよばない。呼びたくなったらどうするかなど)
- ・またロールプレイをしたいです。
- ・何でも経験させてもらって、糧になると思う。
- ・ACPの場面において、本人や家族の思いを効果的に聞き出す方法。
- ・これは確認したほうがよい項目。
- ・どういう風に最期を迎えるか、だいたいの目安や症状など知りたい。
- ・どのタイミングでやるか。
- ・病院内におけるACPをどのようにしているか。
- ・もっと深くACPについて学んでいきたい。どこまで深く聞いた方がよいかなど。

5 「難病」について知りたいこと

- ・ALSについて(2)
- ・新見市の制度
- ・難病は何ゆえに「難病」と指定されているか。
- ・筋ジストロフィー
- ・難病受給者証の申請や対象について
- ・保健所、保健師がやっている業務。訪問している？
- ・疾患の基礎
- ・制度など
- ・制度や入院時に受けられる支援など知りたい。
- ・難病のケースは保健所、ケアマネ、包括など関わっている人が多い。それぞれの役割分担が分からなくなる時がある。手帳を持っていない難病の人の支援。

6 今後、取り上げて欲しい研修テーマ

- ・新見市内の栄養支援の現状
- ・認知症の治療薬についての勉強会
- ・運動器疾患について
- ・認知症の現状と対策
- ・高齢者免許返納

第3回 新見市腎臓を考える会

～ 新見市CKDネットワーク ～

■ 日時 2024年**10月1日** (火) 19:00～20:00

■ 会場 新見商工会議所 ハイブリット開催
(岡山県新見市高尾2475-7) TEL:0867-72-2139
右のQRコードから事前登録が可能です
詳細な視聴方法は裏面をご覧ください



*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

特別講演

19:00～19:30

座長

渡辺病院 健診センター センター長
後藤 真己 先生

「CKD患者の病診連携～井笠地域の現状と展望～」

演者

笠岡第一病院 内科診療部長・透析統括部長
原田 和博 先生

ディスカッション：CKDの普及・食事に関して 19:30～20:00

司会

岡山大学学術研究院医歯薬学域
CKD・CVD地域連携包括医療学講座 教授
内田 治仁 先生

ディスカッサー

岡山大学学術研究院医歯薬学域 総合内科学
准教授 花山 宜久 先生

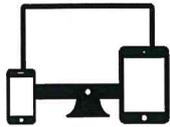
新見クリニック 管理栄養士 藤野 美恵 先生

渡辺病院 栄養科 主任 管理栄養士
山本 久美子 先生

*本講演会は、岡山県医師会生涯教育講座認定 1.0単位（10チーム医療）を取得予定です

Zoomセミナー参加手順・ご利用方法

Zoomセミナーについて



パソコン、タブレット、スマートフォンより視聴可能なOnlineセミナーです。
ご参加には事前登録が必要です。
(タブレット・スマートフォンの場合、アプリのインストールが必要です。
パソコンの場合、アプリのインストールは任意です。)
※すでにアプリをインストールされている場合は、最新のバージョンにて
ご参加ください。

ご案内～開催まで



Step1



事前登録の方法は3つございます。

- i) 左図QRコード*からご登録
- ii) 下記URLからご登録

https://zoom.us/webinar/register/WN_buHqbEYfStiAaU4CJmxMKQ

- iii) 担当 koji.fukushima@torii.co.jp までご連絡ください。
(後日、担当者より登録URLを送らせていただきます。)

*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



Step2



登録後 (i / ii)、招待メールを自動返送させていただきます (登録後すぐに自動で返送されます)

※視聴方法の事前説明が必要な場合は、担当者よりご説明させていただきます

当日



Step3

開始時刻となりましたら、受信したメールの「[ここをクリックして参加](#)」より、
パスワードを入力ください。ご参加方法は2つございます

- i) アプリをインストールして参加



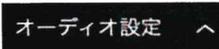
Zoomアプリのインストールには10分程度お時間がかかります
講演前にインストール等設定をお済ませ頂きますようお願いいたします

- ii) アプリをインストールせず参加



推奨ブラウザは、GoogleChromeまたはFirefoxです

ウェビナー機能



オーディオ設定：出力方法、音量設定が可能です



Q&A：ご質問がある場合、こちらからテキスト入力が可能です

Zoom注意点

- ✓ 参加者のカメラ・マイクはセミナー開始時はオフの状態となっております
- ✓ ご質問はQ&Aより受け付けます
- ✓ 全てのご質問には答えできかねますので、ご了承ください
- ✓ ご不明点ございましたら、下記までお問い合わせください

Zoomについての詳細な情報をお求めの場合は、担当者までご連絡下さい

2024年9月

新見医師会 会員
医療、介護、福祉関係者の皆様へ

新見医師会 会長 吉田 徹

第26回 新見医師会・川崎医科大学附属病院 がん診療地域連携懇談会のご案内

平素より、病診連携推進にご尽力いただきありがとうございます。
さて、このたび川崎医科大学附属病院とのがん診療地域連携懇談会を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

今回のテーマは「乳がん」を予定しております。会員並びに看護師、薬剤師、MSW、医療従事者等、多職種の皆様の多数のご参加を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日時 2024年 11月13日（水） 18:30~20:00

場所 新見医師会 くろかみ 研修室

新見市高尾 2306-5 ☎0867-72-0309

<座長> 川崎医科大学附属病院 がんセンター長

上野 富雄 先生

<講演>

1. 「乳がん治療の最前線」

川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科部長 平 成人 先生

2. 「当院における、生殖機能温存・妊孕性温存治療の

取り組みのご紹介」

川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター

医療ソーシャルワーカー 高橋 誉文 先生

※ 日医認定生涯教育講座 1.5 単位として認定申請予定です。

※ 軽食をご用意させていただいております。

※ 参加お申し込みは11月6日（水）までをお願いします。（添文不要）

返信先：新見医師会 FAX 0867-71-0309

第 25 回 新見医師会・川崎医科大学附属病院 がん診療地域連携懇談会

<2024 年 11 月 13 日(水) 18:30~20:00 新見医師会くろかみ研修室>

所属先 _____

	ご氏名	職種
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※本名簿は懇談会出席者の確認にのみ利用させていただきます。
添え文は不要です。ㄨ切 11/6(水)

摂食嚥下障害者への食事介助実技セミナー

「NPO 法人 口から食べる幸せを守る会」理事長の小山珠美先生を講師に、本年度2回目となる「第4回 NiU-KTSM プロジェクト

摂食嚥下障害者への食事介助実技セミナー」を開催いたします。

本セミナーは食事介助についての基礎から応用スキルまでを獲得し、摂食嚥下障害者への姿勢調整や食事介助方法の習得ができることを目的としています。前回ご好評いただいた災害時における介助方法も実践しますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。



■日程 **2024年11月2日(土)**

*申込締め切り：10月25日(金)
(先着順)

■時間 13:30~17:30 (受付13:00~)

■場所 新見公立大学 地域共生推進センター 講義室(2階)および看護実習室(4階)

■定員 講義 (13:30~14:30) : 約50名
実技研修 (14:40~17:30) : 20名

*実技研修参加の方は、講義の聴講が必須です。また、事前学習動画を配信しますので、かならず各自で視聴し、当日受講してください。

■プログラム内容

1. 講義 (13:30~14:30) : 地域共生推進センター棟2階 5203

食事介助の実際について講義・*ハンズオン(二人一組での相互演習)

2. 実技研修 (14:40~17:30) : 地域共生推進センター棟4階

ベッド上や車いす等での姿勢調整、自立支援の食事介助技術、災害時における避難所での口腔ケアや食事ケア、各グループに分かれて不良姿勢へのアプローチ等

■受講料 *当日集金(現金のみ対応)

	受講料	KT スプーン・フォーク
①新見市内医療・福祉施設関係者及び大学関係者(実習施設含む)	5,000円	あり
②その他:KTSM 会員	6,000円	あり
③その他:KTSM 非会員	9,000円	あり
④講義聴講のみ	無料	—
⑤講義・実技研修見学のみ(人数調整あり)	無料	—

*NiU-KTSM プロジェクト:新見公立大学とNPO法人「口から食べる幸せを守る会」が協同し、「口から食べること」の大切さを啓発する事業として、地域の医療・福祉関係者や住民の皆様を対象に講演会や実技研修会等を開催していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

主催:新見公立大学 共催:NPO 法人「口から食べる幸せを守る会」
協力:新見地域医療ネットワーク

NPO法人口から食べる幸せを守る会*

